



図1 高崎市役所から見た赤城山

写真に写っている山名を示すには、図1のように、写真に引き出し線をつけて描くのが一番わかりやすいと思います。写真に加筆することになりますが、画像ソフトがないと引出線や山名を見栄え良く描くのは大変です。もちろん大前提として、正確な山座同定を行わねばなりません。

簡便に行うには、カシミール3Dで作成したCGを写真に添える方法があります。サンプルはたとえばこちら。http://yamao.lolipop.jp/tenbo/tokyo-alps_files/t-alps.htm

そのカシミールには、地名表示画像を別ファイルに保存する機能があります。

表示画像を保存する際に、「地名表示を別ファイルに保存」にチェックを入れます。透明色は白を選びます。こうしておくと「layer」のついたbmpファイルが保存されます。

この地名表示ファイルを実写に重ねれば良いのです。それだけです(^_^)。

●地名表示ファイルの背景を透明にする

ポイントは、地名表示ファイルを文字と引出線にするだけ、つまり背景を透明にすることです。高価な画像ソフトを使わなくても無料のフリーソフトがあります。私が使っているのは、「手軽に透明png」です（ダウンロード先は末尾に記載）。

地名表示ファイルを呼び出し（背景が白になっています）、ペイントの塗りつぶしのようをクリックするだけです（図2）

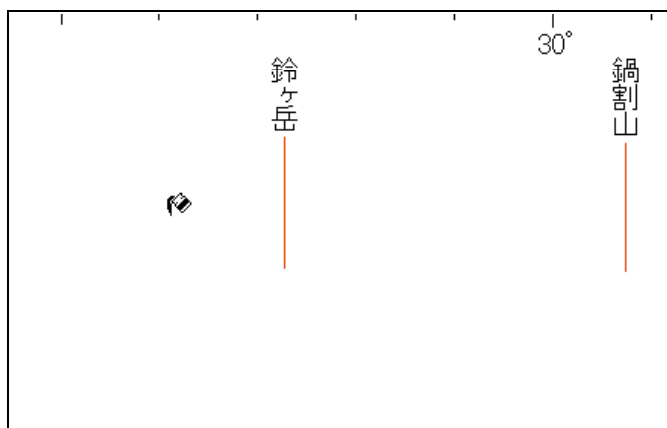


図2

市松模様の画面に変わります（図3）。背景が透明になったということです。



図3

ただ、取りこぼしがあります。これは「拡大表示」して、個別につぶしていきます。

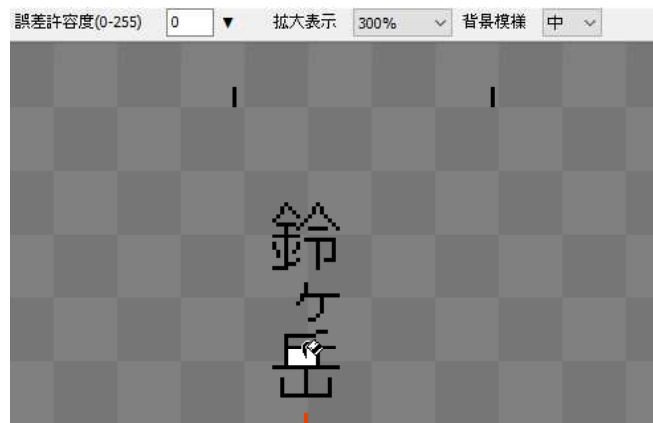


図4

これで背景が透明の地名表示ファイルの完成です。

●実写との合成

画像の合成は、「手軽に透明重ね」を使います（ダウンロード先は末尾に記載）。

取り込めばよいだけです。2つの画像はサイズが一致していないので合わせる必要があ

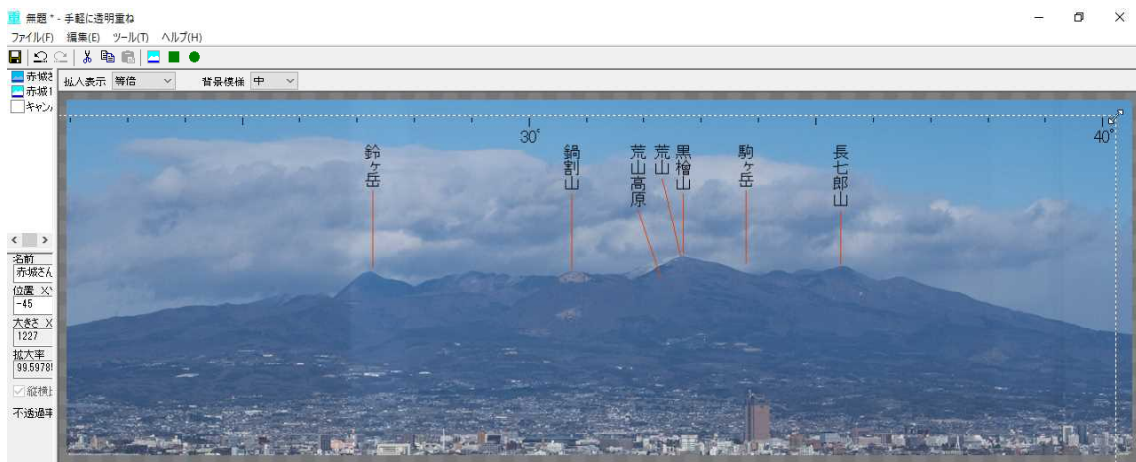


図5 2つの画像を重ねたところ

ります。それは画像を囲む点線の四角のいずれかをドラッグします。拡大率を数字で入れる窓もありますが、ドラッグする方が楽でしょう。そして保存をすればできあがりです。

もちろん、指しているのがどの山かわかっている必要があります。この地名表示ファイルがあるということは、鳥瞰図ができているわけですから、よくわからない山域でも、それと見比べれば問題ありません。

注意点は、実写画像の傾きです。カシミール3Dで作成する地名表示ファイルは水平が正確に保たれています。しかし、実写は傾いている場合があります。特にパノラマ合成した場合は注意が必要です。フォトショップでは、取り込んだ画像の傾きを換えることができますが、このソフトはそれができません。あらかじめ実写画像を水平にしておく必要があります。

こうしてできあがったのが、冒頭の画像です（図1）。

●ダウンロード先

オフィスデイトム <https://www.officedaytime.com/>

手軽に透明 png <https://www.officedaytime.com/toumei/index.html>

手軽に透明重ね <https://www.officedaytime.com/kasane/index.html>

●参考

10年以上前に、「カシミール画像と実写を重ねる」と題して同様なことを行っていました。 <http://yamao.lolipop.jp/gosei.htm>

その時に使用したソフトが今は見つからなかったこともあり、改めて検討した次第です。

田代博

<http://yamao.lolipop.jp/>
tashiro.fujisan@gmail.com